

2020年度事業報告書
(2020年1月1日～12月31日)

特定非営利活動法人 国連ウィメン日本協会

I 事業の成果

2020年は日本中、さらに世界中がコロナ禍の対応に明け暮れた1年でした。特定非営利活動法人国連ウィメン日本協会の活動も例外ではなく、3月の国際女性デーのイベント、ミモザ・ランチョンの中止に始まり、1年間、理事会の各チームが計画した意欲的な数々の活動は、中止や延期を余儀なくされました。

しかしその環境でも実現可能なことを模索し、年の後半には、企業等へリモートでの広報活動等を行いました。またホームページを充実し、メールマガジンの内容や回数、配布先を増やすなど、積極的に活動しました。

さらにコロナ禍に苦しむ世界の女性への寄付も呼びかけました。こうした活動を通じて、当団体への認識や理解も高まったとの手応えもあり、UN Women への拠出も、額は減少したものの従来通り実行でき、ロヒンギャ難民キャンプの女性の自立支援等を行うことができました。

UN Women は、本部の機構改革等に伴い、各国国内委員会の位置づけを新たにすべく、新しいパートナーシップ協定の締結等を求め、承認協定を含め、その対応を求められました。北京会議から25年、UN Women 設立10年のイベント等が行えない中、世界の国内委員会の会合をオンラインで開催するという行事を行い、日本からも参加し、各国の事情を知る有益な機会となりました。

II 事業内容

1 特定非営利活動に係る事業

(1) 日本の社会に UN Women についての理解を深めるための広報活動事業

ア 情報発信広報啓発普及事業

- ・内容 ① UN Women、国連ウィメン日本協会、協力協定団体等の活動を広く社会に広報するために、ニューズレター「国連ウィメン日本協会」を制作、発行 18号(1月:3,000部)。予定していた19号の発行は中止となりました。
- ② ホームページ「国連ウィメン日本協会」の適時更新・改定作業、フェイスブックによる情報発信は随時。
- ③ UN Women本部からのニュースリリース等を随時翻訳し、ホームページに掲載、その他資料等を随時翻訳した。
- ④ メールマガジンを発行し募金・情報の発信に努めた。登録者数1,135人 第55号(1月)から第65号(12月)、臨時号(4月)、特別号(世界人権デー8月、暴力撤廃11月、年末チャリティ12月)全16回
- ⑤ UN Women 及び国連ウィメン日本協会を各地で広報
 - ・理事2人 企業社員教育「ジェンダー平等と女性のエンパワーメント」講演の登壇者として
 - 日時：10月27日(火) 場所：Amazon Japan 参加者：350人

・日時 通年

- ・場所 全国
- ・従事者人員 20人
- ・受益対象者 一般市民 多数
- ・支出額 2,912,631円

イ 情報提供・理解促進のための各種事業

内容 国連「国際女性デー」ミモザチャリティランチョン

特別ゲスト：神山清子氏（陶芸家）

- ・日時 3月10日（火）12時-14時
- ・場所 国際文化会館 榊山ルーム
- ・従事者人員 11人
- ・受益対象者 97人
- ・支出額 610,570円

注：COVID-19の感染拡大防止のため急遽中止とした。

参加費の返金について、UN Women への寄付にしたいと申し出があった。

(2) 関係機関・団体に対する UN Women への協力促進活動事業

ア 国際的な協力・連携事業

内容 UN Women 国内委員会 ミーティングはオンラインにより開催。有志理事が参加

イ UN Women 日本事務所との協力・連携事業

内容 UN Women 日本事務所との会合 ⇒開催無し

ウ 外務省を始めとし各省庁・自治体・団体等との協力促進・連携事業

内容 ①スポーツ庁が実施しているスポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアムに会員として登録
②内閣府男女共同参画推進連携会議に団体推薦議員として理事が参加
③WE P s（女性のエンパワーメント原則）を推進する「WE P s 日本連絡会」（構成団体：国連ウィメン日本協会、グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン（GCNJ）、日本 BPW 連合会、UN Women 日本事務所）に理事が参加し WEPs の啓発・推進に関わる

- ・日時 ア：11月9日～11日（3日） イ：開催無し ウの③：11月13日
- ・場所 ア：オンライン参加 ウの③：オンライン参加
- ・従業者人数 ア：3人 イ・ウ：2人
- ・受益対象者 ア・イ：世界の女性 ウ：一般市民
- ・支出額 合計 111,207円

(3) 募金活動による UN Women への支援活動事業

ア UN Women への拠出のための（募金・寄付による）ファンドレイジング事業

内容 UN Women 募金・寄付金

年間を通して、会員・企業・団体・個人・協力協定団体等による募金・寄付活動が活発に行われた。

2020年度 UN Women 募金・寄付金総額 5,461,629円

2020年度 UN Women への拠出金額 4,096,221円

（拠出金の内訳 ①は2020年11月と12月、②は2020年12月、UN Women へ送金済

①UN Women バングラディッシュ事務所「ロヒンギャ難民女性・少女支援プロジェクト」2,342,018円（22,315.85ドル）

②女性に対する暴力撤廃国連信託基金 800,000円（7,644.53ドル）

③コア 954,203円…2021年1月中に送金予定）

- ・日時 募金・寄付は通年
- ・場所 全国
- ・従事者人員 20人
- ・受益対象者 世界の女性
- ・支出額 4,897,705円

(4) UN Women 及び国連ウィメン日本協会の名称・ロゴ使用に関する業務事業

ア UN Women 及び国連ウィメン日本協会の名称・ロゴの管理事業

- ・内容 UN Women 及び国連ウィメン日本協会・協力協定団体の名称・ロゴの使用に関し、協力協定団体、企業等に周知を図り管理・監督に努めた。
協力協定団体ネットワーク会議は中止とした。
- ・日時 通年
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 一般市民 協力協定団体会員
- ・支出額 111,207円

2 その他の事業

- (1) その他募金活動に関連する収益事業
本年度は実施していません。